

## それぞれが成長した 1 学期でした！

暑い日が続きます。そのエネルギーを得て溼潤と生命を燃焼させる夏が始まります。同時に、1 学期を終え、自分や仲間の成長を確認し、次の課題へと向かうまとめをしっかりとする時です。不登校を通しての学びは大きなものがあります。不登校の自分、不登校の我が子、また親としての自分と向き合いますと、自分の様々な面が見えてきます。そしてその中から今大切に取り組むべきことが自然に理解できます。これが課題です。この課題に喜びを持って取り組みます。すると、「小さな好ましい変化」(H.4 年 文部省通知) が必ず現れます。この好ましい変化を大切にしましょう。親も子も課題を意識することです。そのことにより親子の関係が改善されたり、深まったりします。このように不登校の学びは、生徒本人だけにとどまらず、家族全体へと広がり、実りも豊かになります。

さて、聖母の小さな学校ではこの 1 学期、基礎的な学習はもとより、日本の伝統文化を学ぶ茶道・華道・陶芸、国際理解を深める中国語、施設の窓拭きボランティア、日常生活の力をつける調理実習(魚の干物も作りました)、福祉学習(盲導犬訓練センター見学・車椅子介護体験)、遠足、親子行事、舞鶴市中学生の主張大会見学、舞鶴市立和田中学校理科室における特別授業など、たくさんの学びをいたしました。生徒たちは学びを重ね、毎日、電車通学ができるようになりました。家庭でも、自分の部屋にいてケイタイしていることが多かったのが、居間で過ごす時間が増え、手伝いもするようになったこと、今まで家族以外の人と話すことができなくなっていたのが、「聖母」での 1 年半の学びを経て、安心して話ができるようになったこと、毎日の宿題もできるし、聖母での様々な学びに積極的に向かう事ができるようになりました。そして最も重要なことは、自分を見つめることができるようになったこと、そして、自分の心を開いて本音で話すことができるようになったことです。悩んでいたことや心の奥の方にためていたことを、辛いけれど、しっかり先生と話すことができたことです。前向きになりました。進路についても、「今の自分」を見ながら考えてゆけるようになりました。

夏休みに入りますが、家庭での生活も、家族皆で心豊かなものになるよう努力してください。また、多くの中学校、高等学校にご協力いただきました。そして、この 1 学期、佐藤三千代先生、青木妙子先生、佐織保男先生、岩見昌則先生、山中知昌先生、石鑫先生(舞鶴市国際交流員、大連市より派遣)、倉橋亮・島田敦司様(舞鶴市役所)、こひつじの苑舞鶴様(順不同)の方々に教えていただきました。本当にありがとうございました。